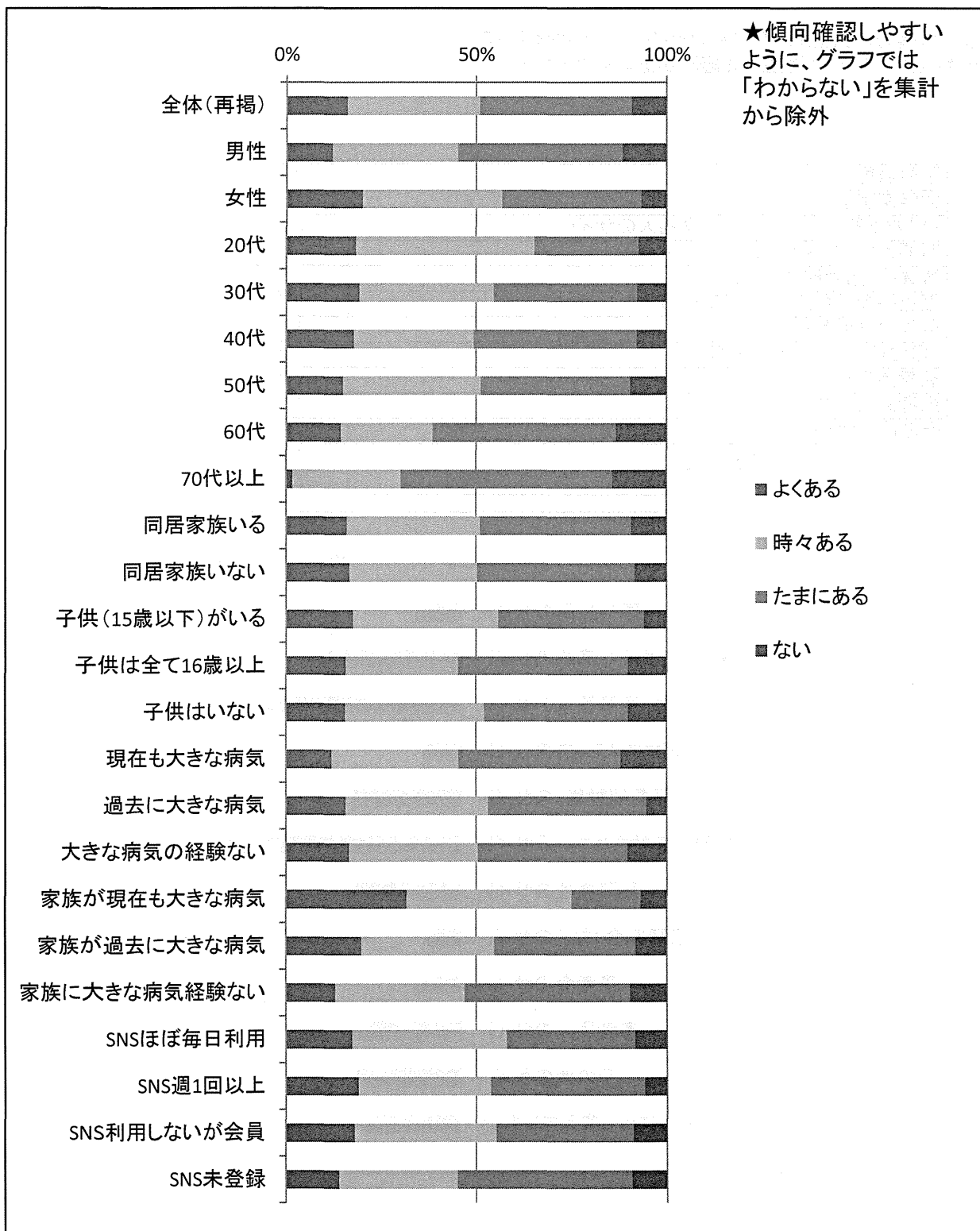


4. インターネットから「病気」「治療法」に関する情報を得て、役に立った経験がありますか（詳細）



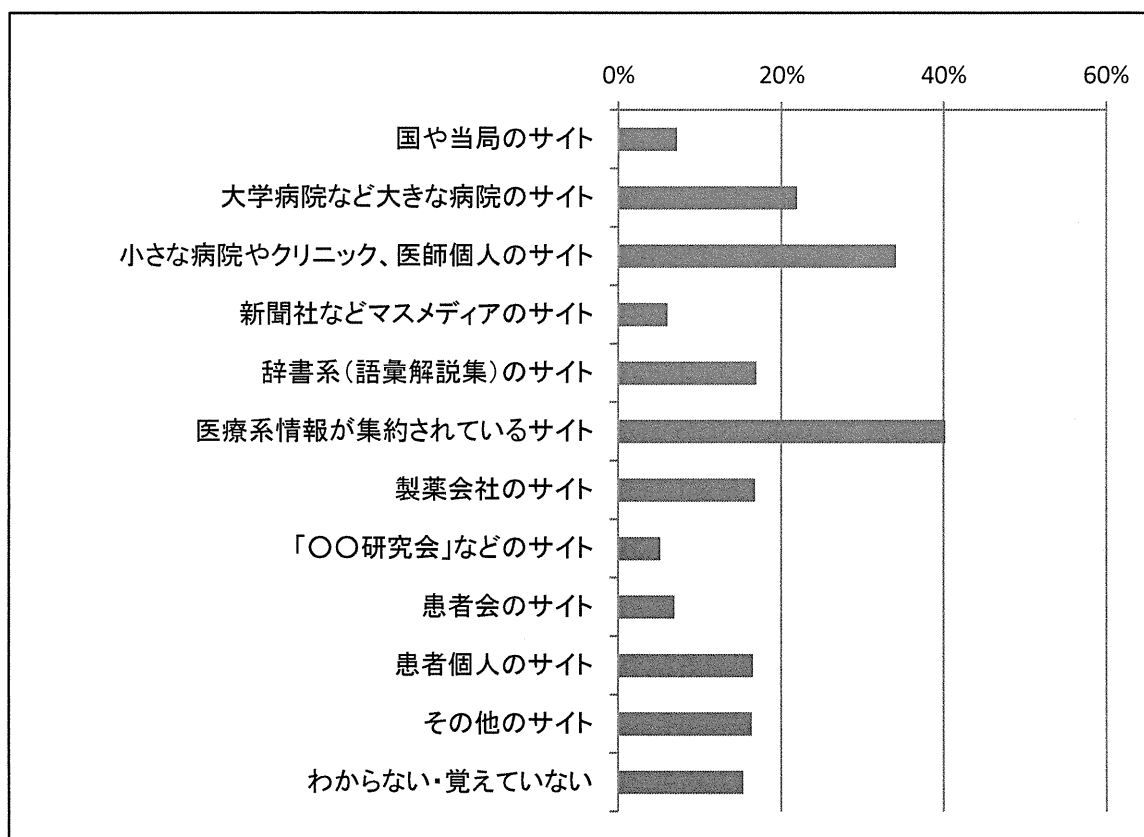
【別図7 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報の有用性(属性別)】

6. その「役立つ」情報は、どのサイトにあったものですか（複数選択）

注：役立つ経験があると回答した人のみが対象者

役立つ情報は、医療系情報集約サイトや、小さな病院・医師が運営するサイトで経験する人が多い。国や当局のサイトが役立つ経験がある人は7%であった。

国や当局のサイト	50	7.3%
大学病院など大きな病院のサイト	151	21.9%
小さな病院やクリニック、医師個人のサイト	235	34.2%
新聞社などマスメディアのサイト	42	6.1%
辞書系（語彙解説集）のサイト	117	17.0%
医療系情報が集約されているサイト	277	40.3%
製薬会社のサイト	116	16.9%
「〇〇研究会」などのサイト	36	5.2%
患者会のサイト	48	7.0%
患者個人のサイト	114	16.6%
その他のサイト	113	16.4%
わからない・覚えていない	106	15.4%
計	688	204.2%



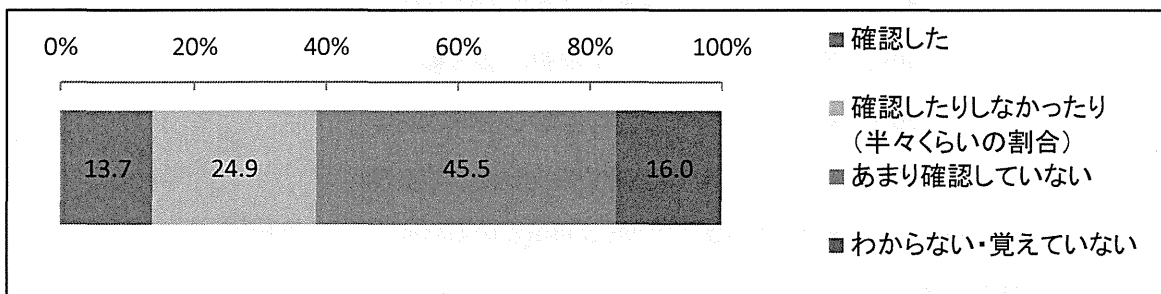
【別図8 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報の掲載先】

7. その「役立った」情報を見つけた時に、「そのサイト運営者が誰か」を確認しましたか。

サイト運営者を確認する人は少なく、「確認したりしなかったり(半々ぐらいの割合)」の人を含めて、39%であった。一方で、自身や家族に「大きな病気」経験がある人は、確認行為をする割合が高く、より真剣に情報を吟味する習慣が付きやすいことが推測される。

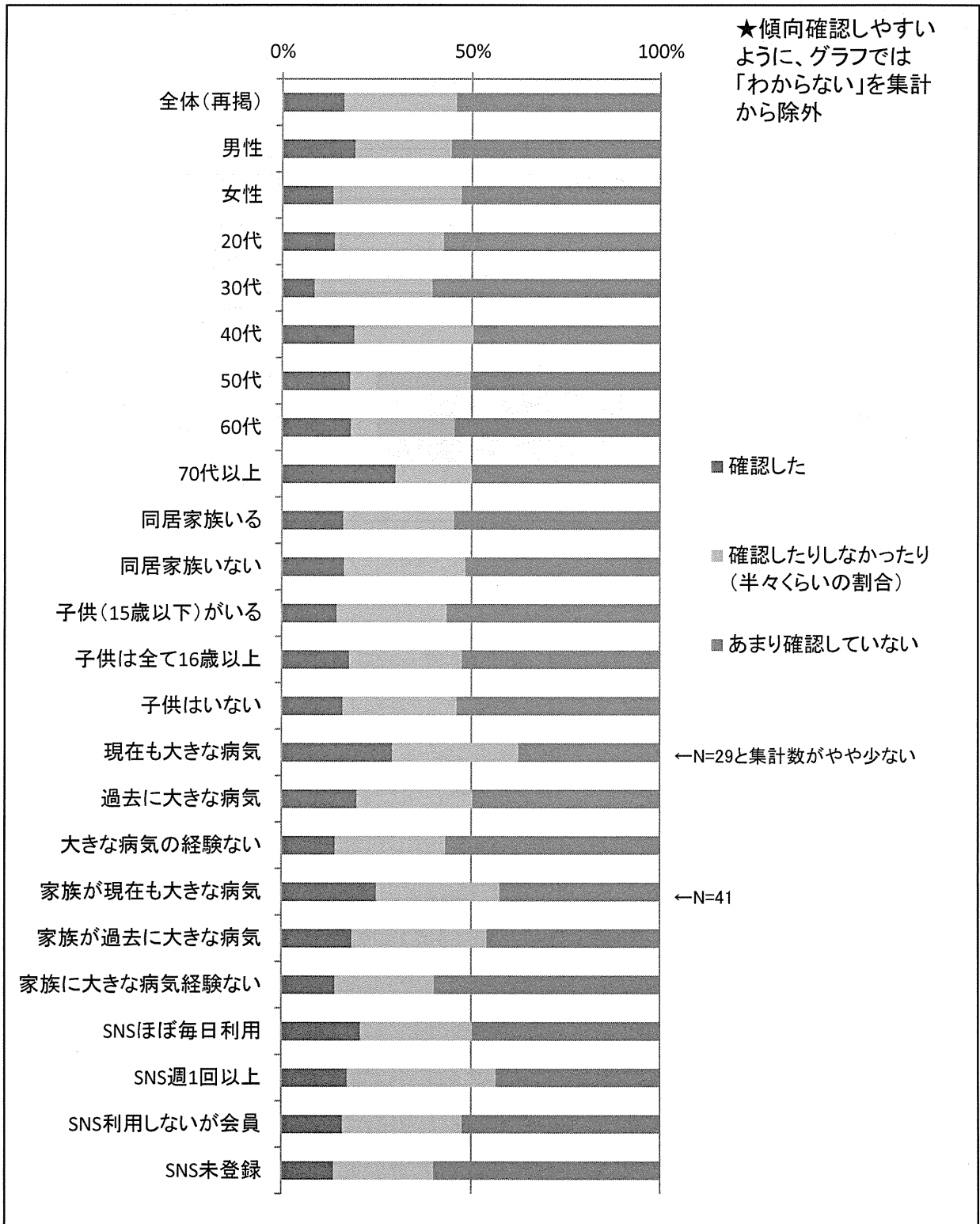
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

確認した	94	13.7%
確認したりしなかったり(半々ぐらいの割合)	171	24.9%
あまり確認していない	313	45.5%
わからない・覚えていない	110	16.0%
計	688	100.0%



【別図9 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報掲載先の運営者確認状況(全体)】

7. その「役立った」情報を見つけた時に、「そのサイト運営者が誰か」を確認しましたか（詳細）

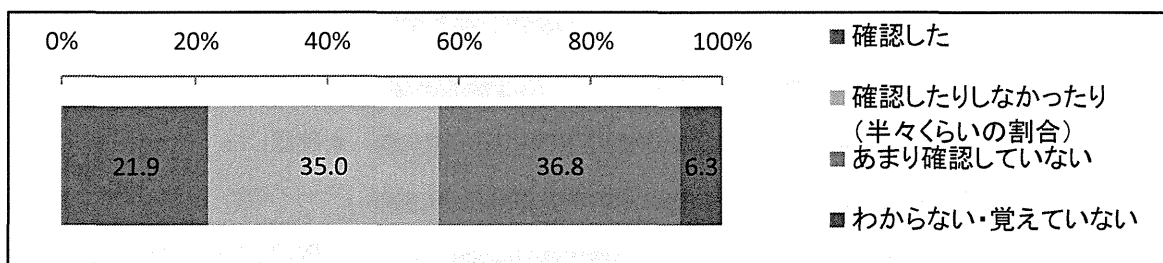


【別図10 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報掲載先の運営者確認状況(属性別)】

8. その「役立つ」情報を見つけた時に、すみやかに情報が正しいか否かを確認しましたか

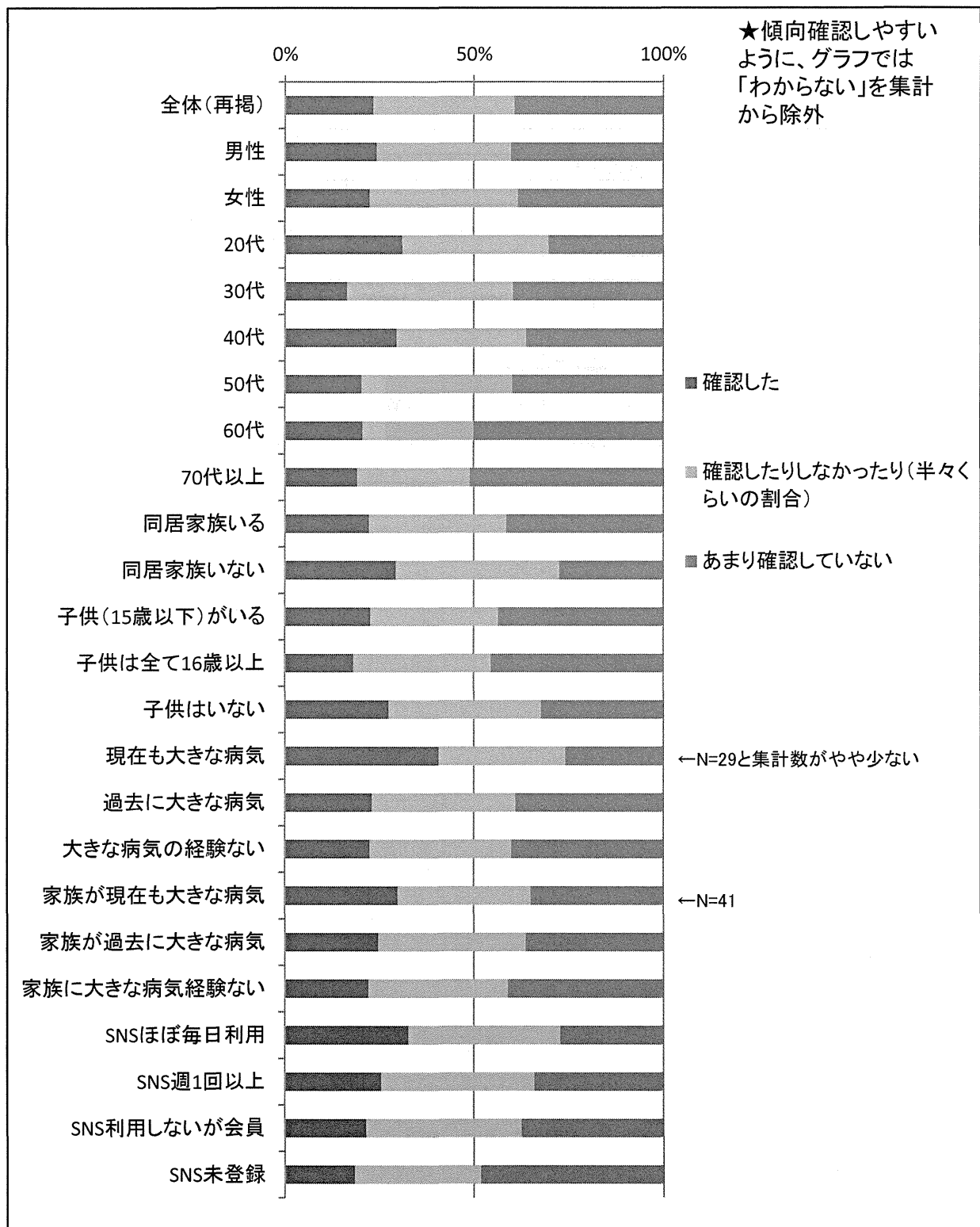
前問の「サイト運営者確認」に比べると、確認する比率は高かった。

確認した	151	21.9%
確認したりしなかったり(半々くらいの割合)	241	35.0%
あまり確認していない	253	36.8%
わからない・覚えていない	43	6.3%
計	688	100.0%



【別図11 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報掲載の正確さ確認状況(全体)】

8. その「役立った」情報を見つけた時に、すみやかに情報が正しいか否かを確認しましたか（詳細）

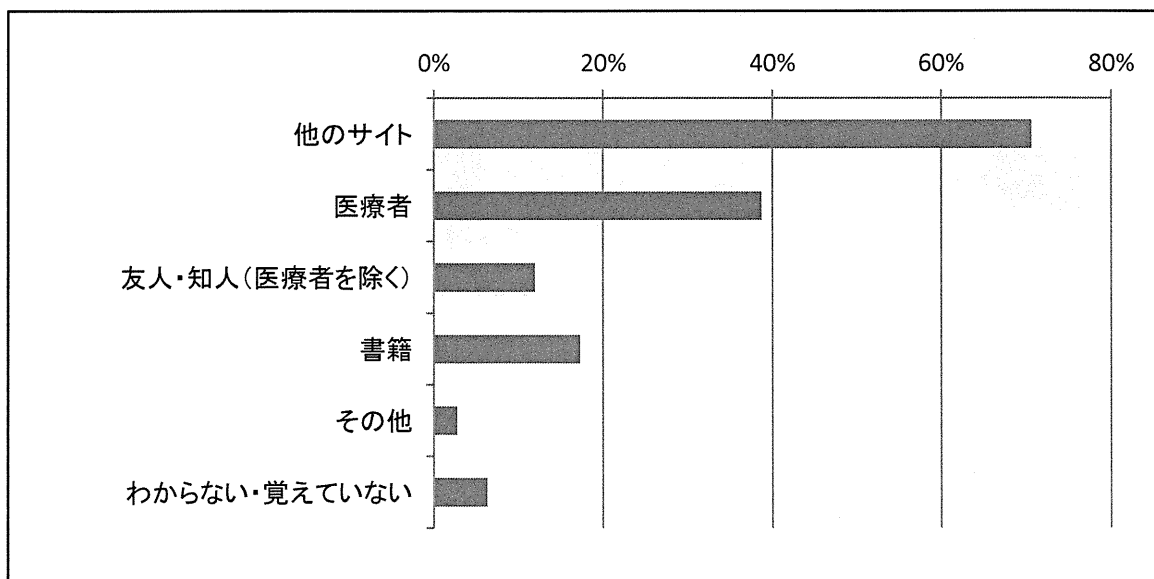


【別図12 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報掲載の正確さ確認状況(属性別)】

9. どのような方法で、その情報が正しいか否かを確認しましたか（複数選択）

情報の正偽確認手段は、71%の人が「他のサイト」を挙げており、医療者は39%であった。「その他」は、「サイト運営の病院に電話」などであった。

他のサイト	277	70.7%
医療者	152	38.8%
友人・知人(医療者を除く)	47	12.0%
書籍	68	17.3%
その他	11	2.8%
わからない・覚えていない	25	6.4%
計	392	148.0%



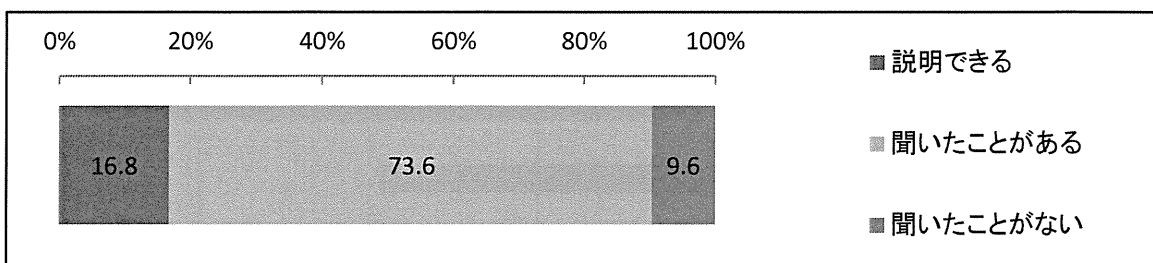
【別図13 インターネットで収集した「病気」「治療法」に関する情報掲載の正確さの確認先(全体)】

～臨床試験・治験に対する認知度とイメージ～

1. 「臨床試験」とは何か、ご存知ですか

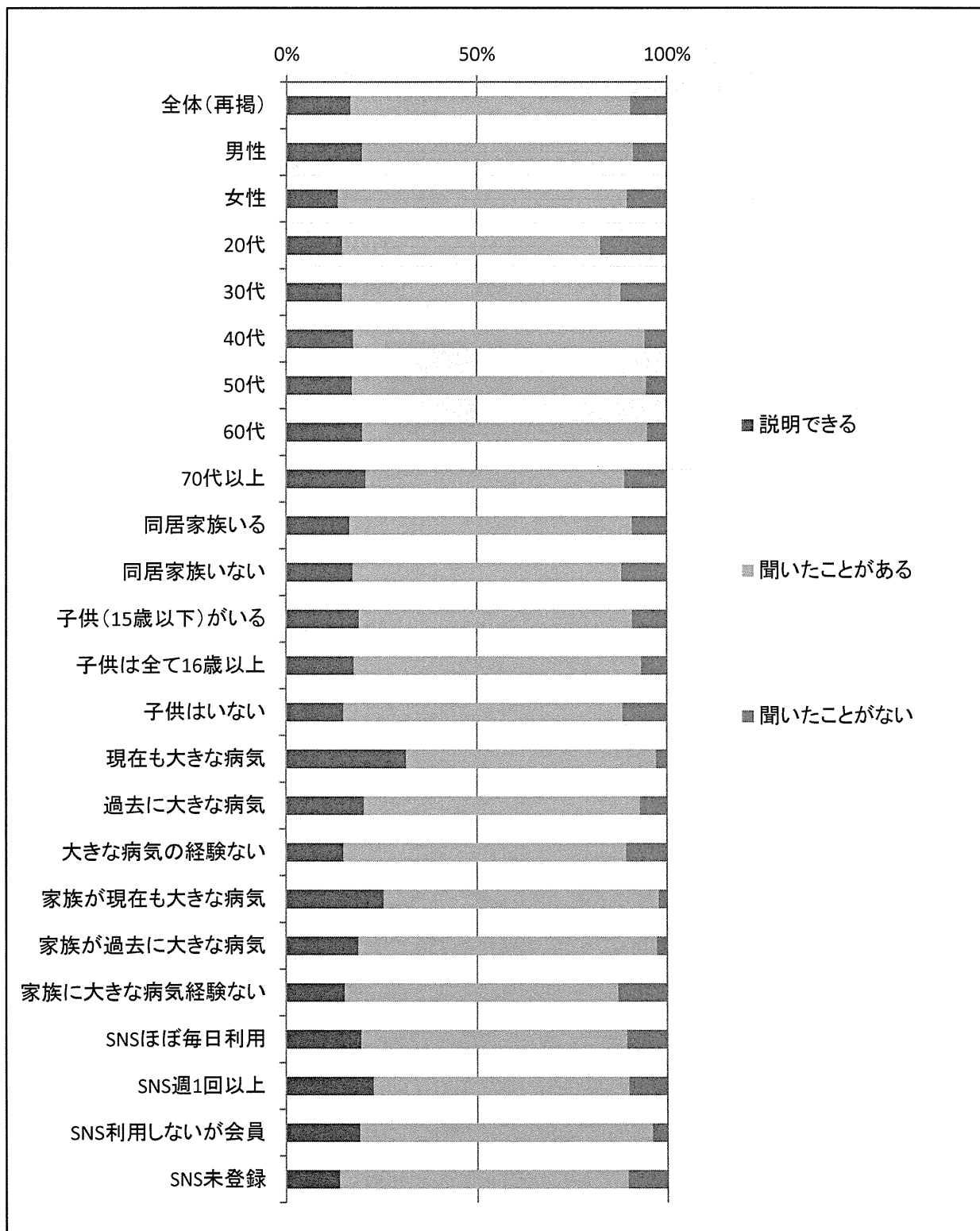
認知率(聞いたことがある)は約90%、理解率(説明できる)は約17%であった。
 年代別では高齢の方が、認知率・理解率ともに高い傾向がある。また、自身や家族に「大きな病気」経験があるの方が、ない人よりも認知率は高かった。
 (以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

説明できる	168	16.8%
聞いたことがある	736	73.6%
聞いたことがない	96	9.6%
計	1,000	100.0%



【別図14 臨床試験に対する認識度(全体)】

1.「臨床試験」とは何か、ご存知ですか（詳細）

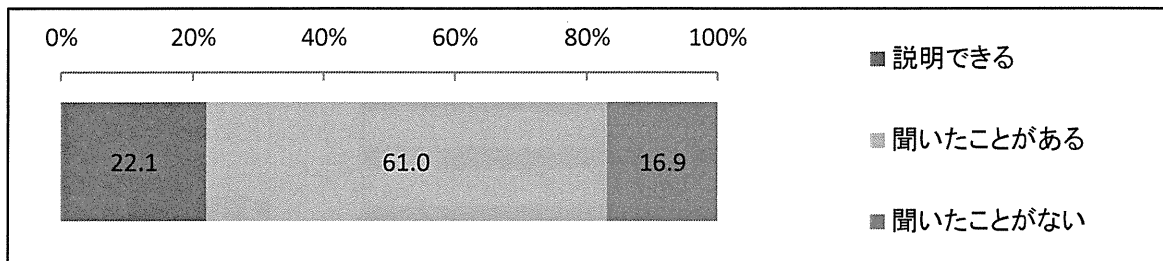


【別図15 臨床試験に対する認識度(属性別)】

2. 「治験」とは何か、ご存知ですか

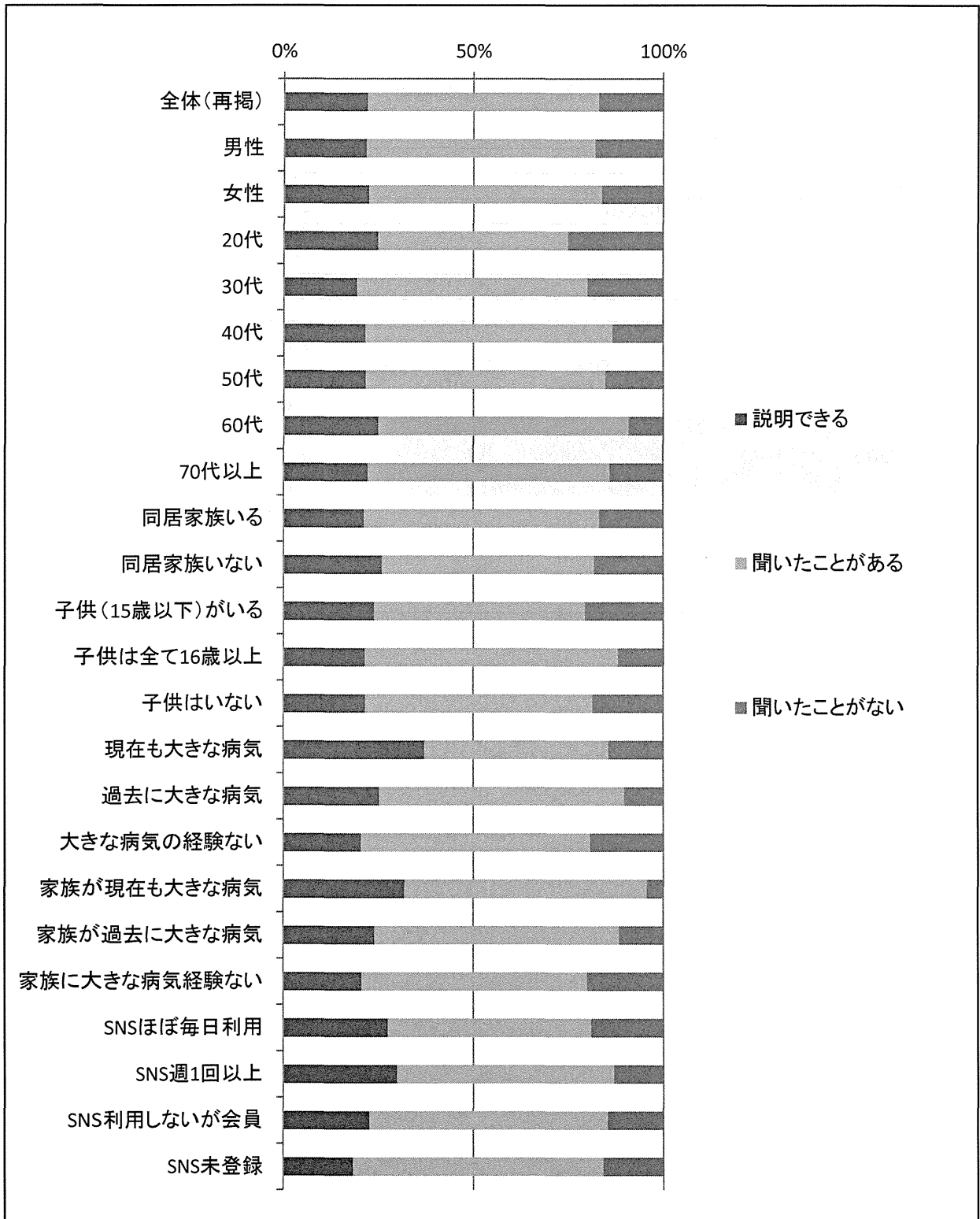
認知率は83%、理解率は22%であった。「臨床試験」に比べて「治験」は、認知度が低く、理解度は高かった。臨床試験と同様に、自身や家族の「大きな病気」経験度との関連が見られた。
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

説明できる	221	22.1%
聞いたことがある	610	61.0%
聞いたことがない	169	16.9%
計	1,000	100.0%



【別図16 治験に対する認識度(全体)】

2.「治験」とは何か、ご存知ですか（詳細）



【別図17 治験に対する認識度(属性別)】

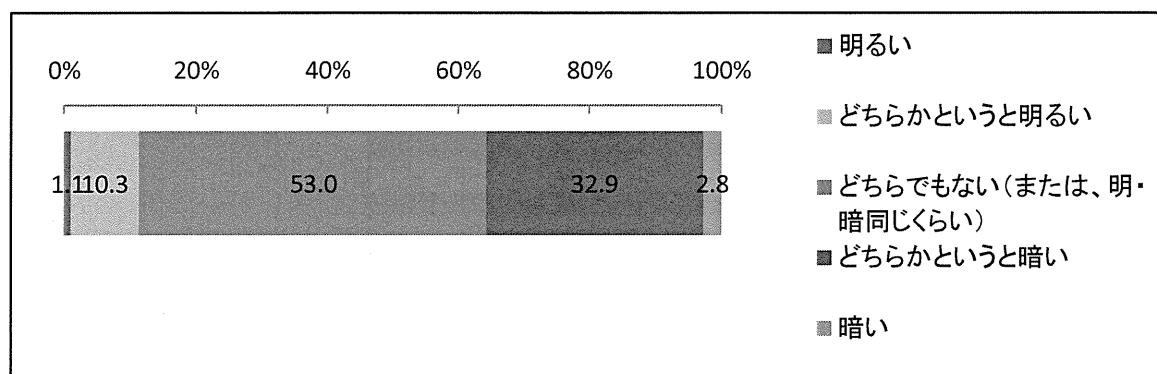
3. 「臨床試験」と聞いてどのようなイメージを持ちますか

注: 「臨床試験」を「聞いたことがない」人は非回答

「どちらでもない(または、明・暗同じ)」が53%であり、明るい: 暗い=11%:36%で暗いと回答した人が多かった。

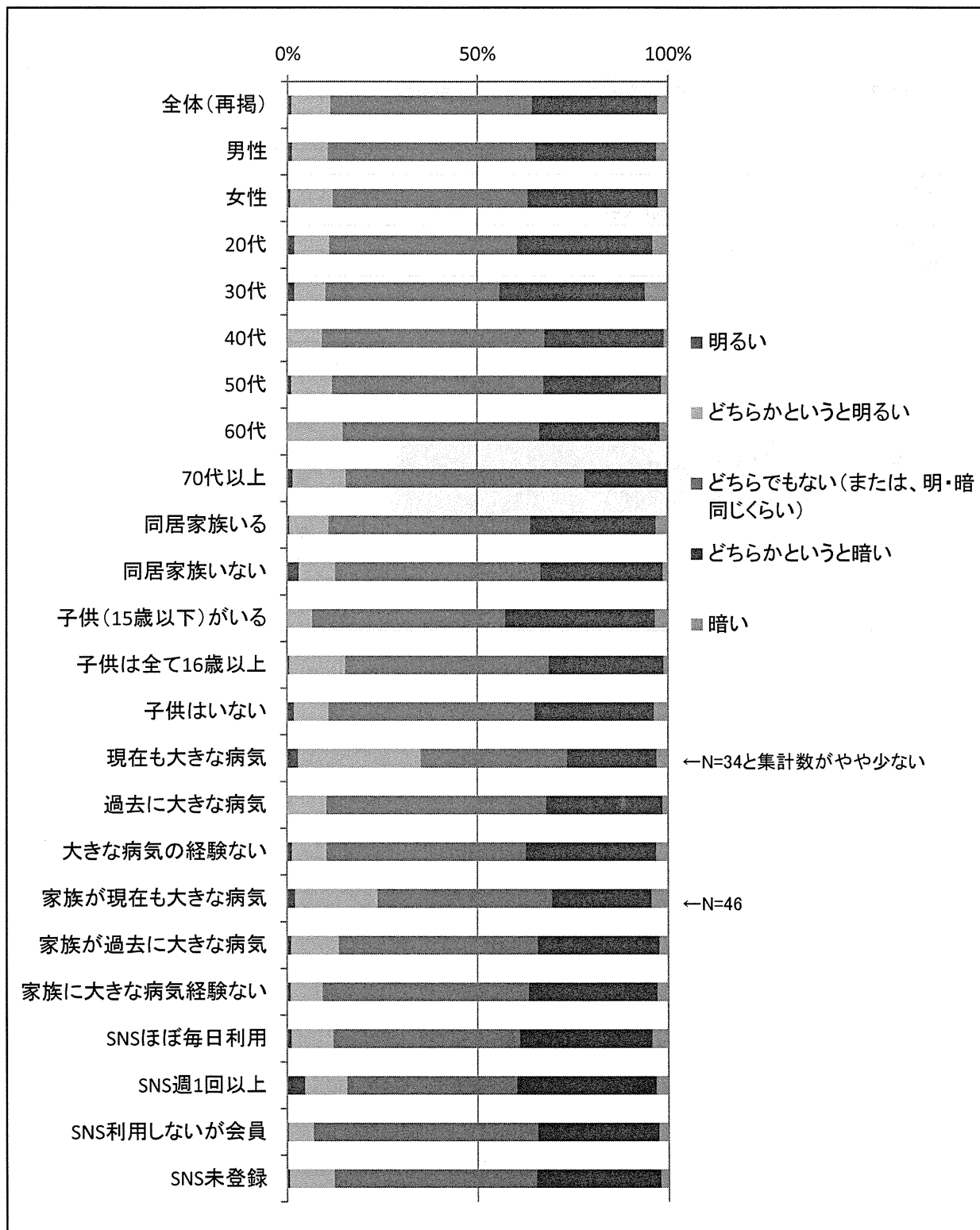
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

明るい	10	1.1%
どちらかという光明い	93	10.3%
どちらでもない(または、明・暗同じくらい)	479	53.0%
どちらかというと暗い	297	32.9%
暗い	25	2.8%
計	904	100.0%



【別図18 臨床試験に対するイメージ(全体)】

3. 「臨床試験」と聞いてどのようなイメージを持ちますか（詳細）



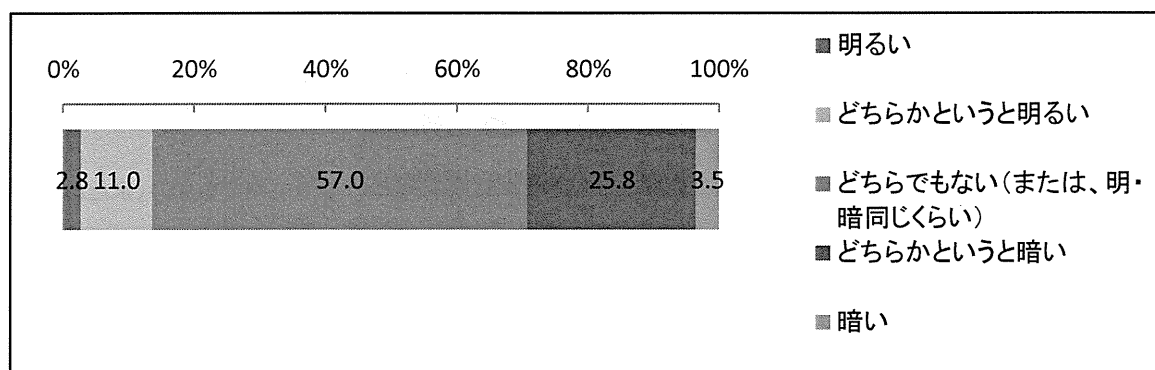
【別図19 臨床試験に対するイメージ(属性別)】

5. 「治験」と聞いてどのようなイメージを持ちますか

注: 「治験」を「聞いたことがない」人は非回答

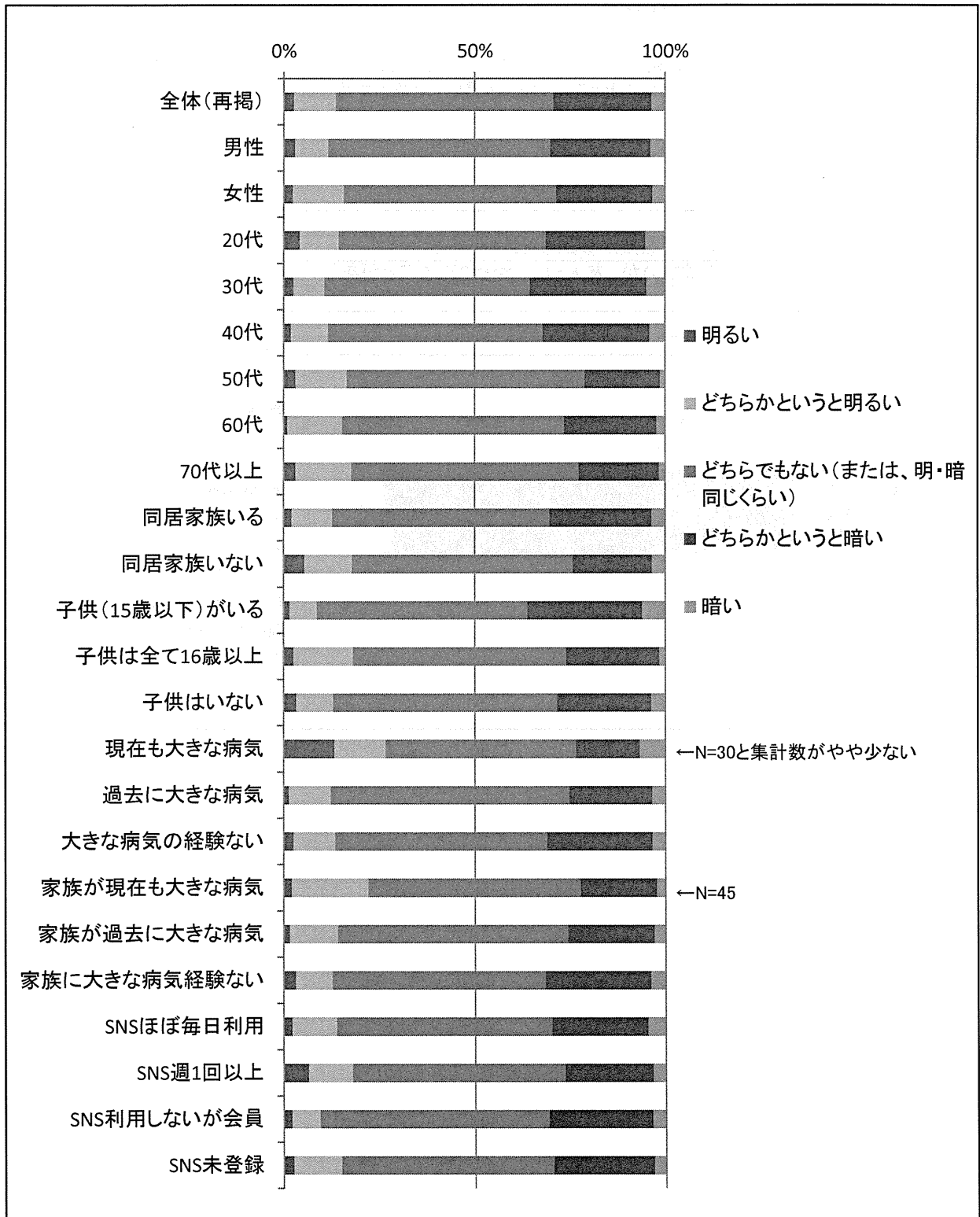
「どちらでもない(または、明・暗同じ)」が57%であった。明るい: 暗い=14%: 29%で暗いと回答した人が多かったが、「臨床試験」に比べると「明るい」と回答した人が多かった。
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

明るい	23	2.8%
どちらかという光明い	91	11.0%
どちらでもない(または、明・暗同じくらい)	474	57.0%
どちらかというと暗い	214	25.8%
暗い	29	3.5%
計	831	100.0%



【別図20 治験に対するイメージ(全体)】

5. 「治験」と聞いてどのようなイメージを持ちますか（詳細）



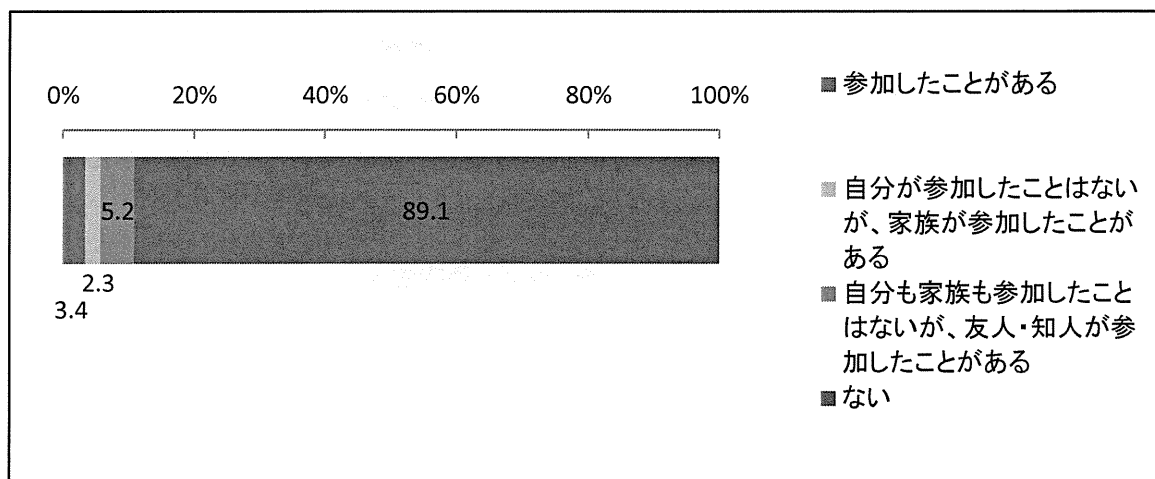
【別図21 治験に対するイメージ(属性別)】

～臨床試験・治験の経験や関連情報に関する実態～

1. 「臨床試験・治験」に参加したことがありますか

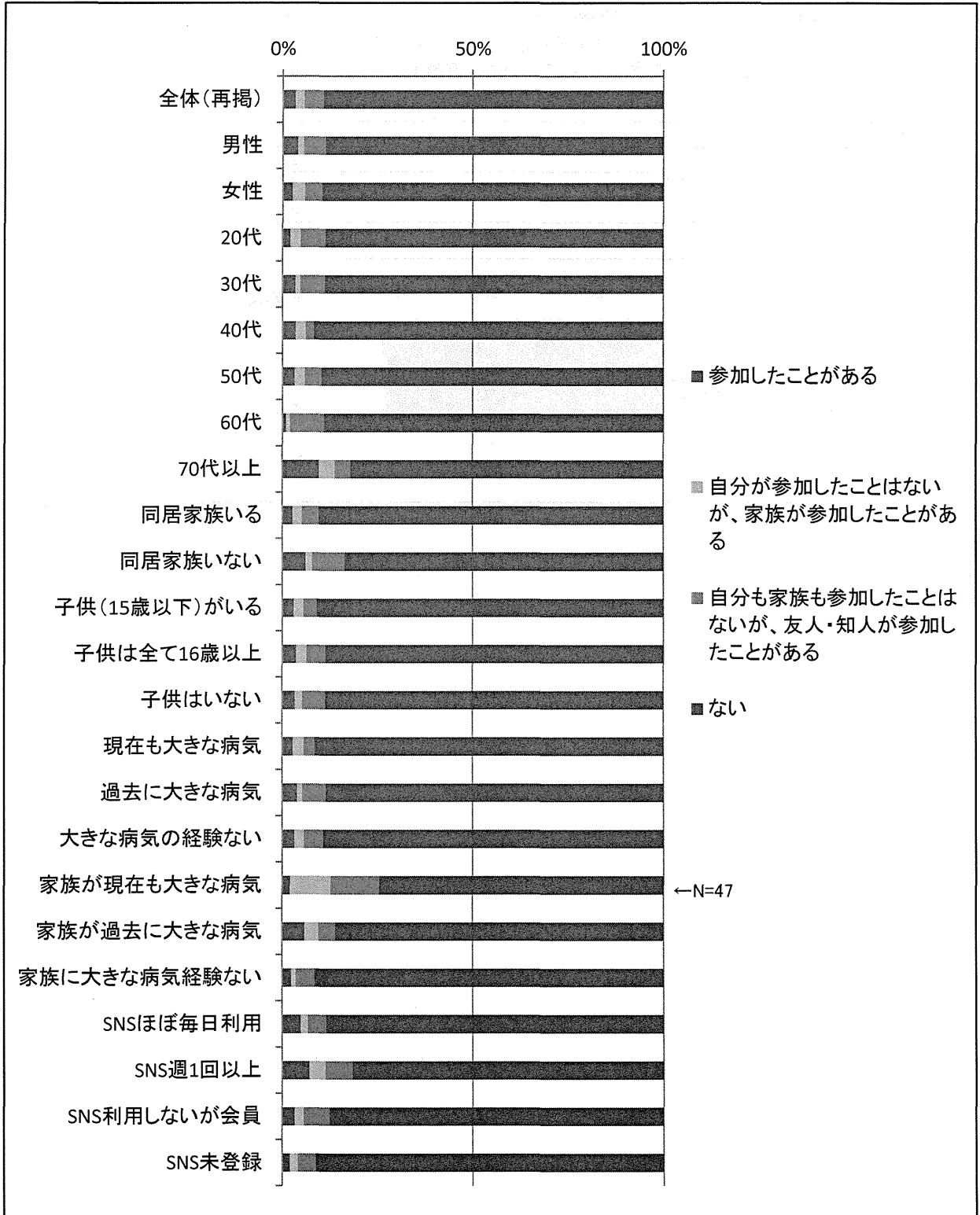
臨床試験または治験に参加した経験がある人は3.4%であった。自分自身および家族、友人・知人も参加経験がない人が89%であり、今回の対象者にとっては「臨床試験」「治験」は実際の馴染みがない人が多数であることがわかった。

参加したことがある	34	3.4%
自分が参加したことはないが、家族が参加したことがある	23	2.3%
自分も家族も参加したことはないが、友人・知人が参加したことがある	52	5.2%
ない	891	89.1%
計	1,000	100.0%



【別図22 臨床試験・治験への参加経験(全体)】

1. 「臨床試験・治験」に参加したことがありますか（詳細）

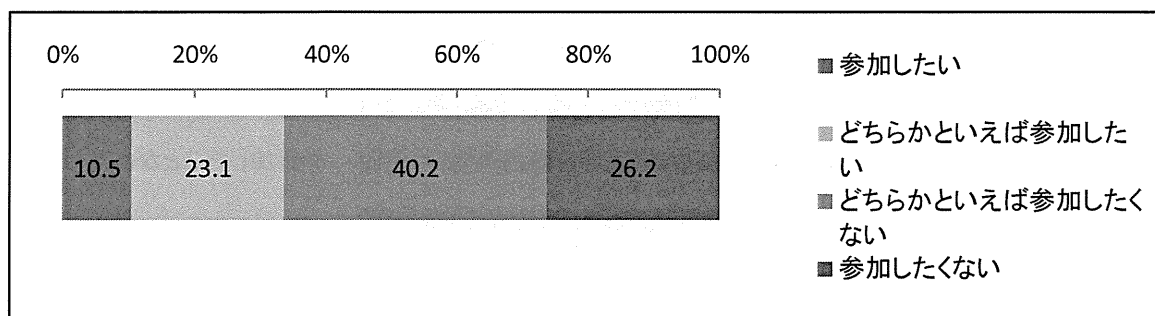


【別図23 臨床試験・治験への参加経験(属性別)】

2. 「臨床試験・治験」への協力を依頼されたら、参加してみたいと思いますか

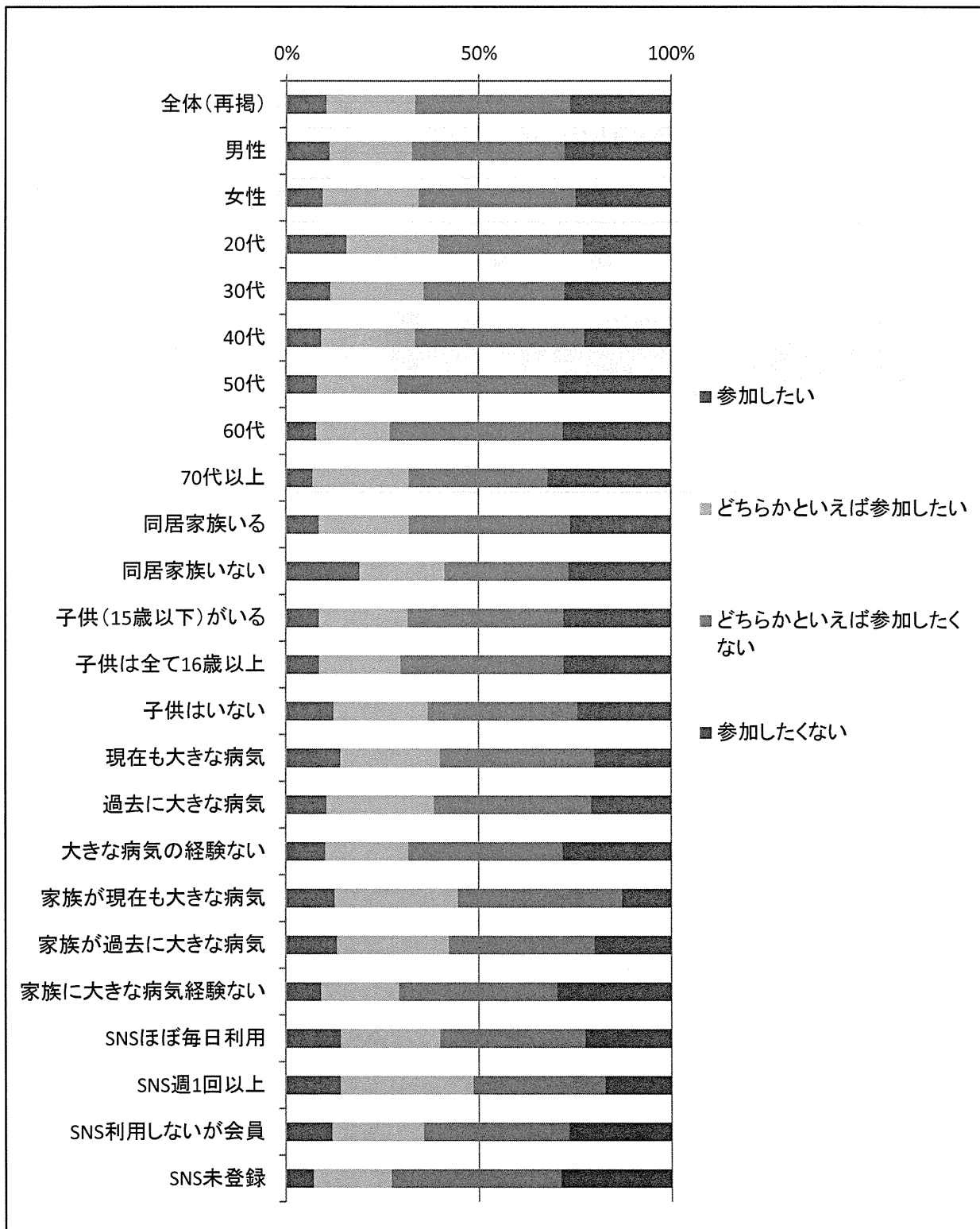
3人に1人が「依頼されたら」、臨床試験や治験に「参加したい」「どちらかといえば参加したい」と回答していた。年代別では若い方が参加に積極的な傾向がある。またSNS利用者の方が積極的である。
(以上の記載について、統計学的有意差の有無については未検討)

参加したい	105	10.5%
どちらかといえば参加したい	231	23.1%
どちらかといえば参加したくない	402	40.2%
参加したくない	262	26.2%
計	1,000	100.0%



【別図24 臨床試験・治験への参加希望(全体)】

2. 「臨床試験・治験」への協力を依頼されたら、参加してみたいと思いますか（詳細）

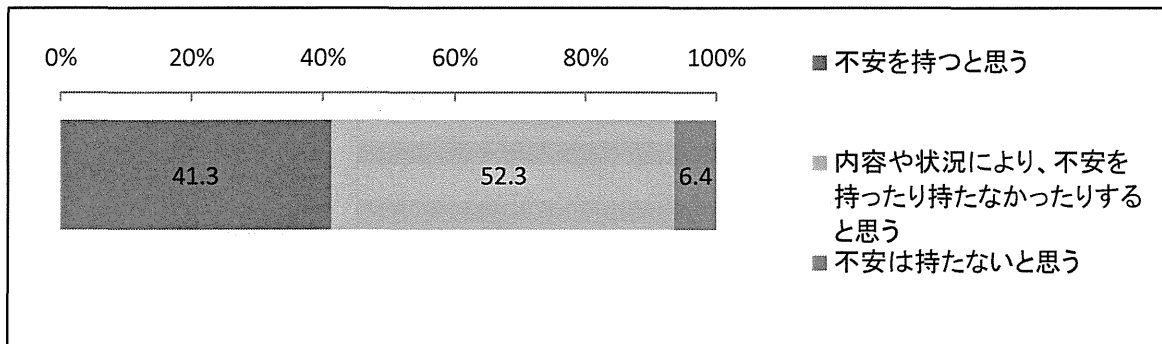


【別図25 臨床試験・治験への参加希望(属性別)】

3. 「臨床試験・治験」に参加する場合、不安を持ちますか

臨床試験や治験への参加に際しては、「内容や状況により、不安を持ったり持たなかったりと思う」と回答した人が約半数であった。

不安を持つと思う	413	41.3%
内容や状況により、不安を持ったり持たなかったりと思う	523	52.3%
不安は持たないと思う	64	6.4%
計	1,000	100.0%



【別図26 臨床試験・治験参加時の不安(全体)】